

# 県本部第114回臨時大会

日時：2024年2月7日(水) 10:00～  
会場：福島市「ホテル福島グリーンパレス」  
議案：県本部2024春闘方針(案)、2023秋  
期確定闘争の中間総括(案)ほか

# 自治労福島

自治労福島県本部機関紙

E-mail:syokichou@jichiro-fukushima.or.jp

第847号

2024年(令和6年)

1月31日

福島市荒町1-21  
自治労福島県本部  
発行人澤村英行

## がんばろう福島

### 2024 春闘討論 集会

# あなたの声ではじまる春闘 2024春闘方針を組織討議へ

県本部は、1月12～13日の日程で2024春闘討論集会を磐梯熱海で開催し、春闘方針(討議案)等に対する意見集約を行った。春闘方針は、組織討議に付され、2月7日の臨時大会で決定する。集会には37単組128人が参加した。

県本部は、1月12日(13日の日程で、郡山市熱海町「ホテル華の湯」で2024春闘討論集会を開催した。この中で、県本部の2023秋期確定闘争中間総括と2024春闘方針の討議案について提案。その場で補強意見を受けるともに、単組での議論を喚起するため、組織討議に付した。集会では、連合福島・

諸橋誠敏事務局長から「連合福島における春闘の取り組み」、自治労本部・八巻由美総合企画総務局長から「2024自治労春闘のポイント」との演題で講演を頂いた。分科会は「賃金・労働条件」、「高齢層職員の賃金・労働条件と組織化」、「自治労共済の推進」をテーマに、各々、県本部からの基調提起等を受け

#### 第一分科会

「賃金・労働条件」の分科会では、モデル賃金、中途採用者の処遇改善、カスタマー・ハラスメント対策の3点について、県本部から基調提起を行った。特にカスタマー・ハラスメントは、近年公務職場でも認識されてきていることに触れ、その対策とし名札をフルネームから苗字のみにするなどの事例が紹介された。

各単組からは、単組が抱える喫緊の課題について報告があった。特に、多く挙げられていたのは、県職員同等の初任給格付への改善で、県内市町村単組の多くが県職員より初任給が4号低く抑えられている実態が浮き彫りとなった。自治体職員採用試験の応募者が減少傾向にある中で、入口賃金の改善は必須であり、

全単組で県職連合同等の初任給格付を目指すことを確認した。

#### 第二分科会

「高齢層職員の賃金・労働条件と組織化」について触れた第二分科会では、特に今年度末に迫る定年延長にあたり、最低でも60歳超の賃金格付について決着していない単組は早急に交渉の追い上げを図っていくことを確認した。その上で、再任用職員と合わせ高齢層職員の処遇改善について取り組むこととした。

また、定年延長職員の組織化に向けては初年度の取り組みが重要であること、処遇改善にあたっては当事者の運動への参加が大きな影響を及ぼすことについても共有を図り、ヤマ場に向け取り組みの意思統一を図った。

#### 第三分科会

「自治労共済の推進」を取り上げた第三分科会の中では、自治労共済推進本部・久知良誠二事業の政策・制度の実現と、地域労働者全体の生活環境の底上げをめざすものです。それを踏まえた上で、これまでも公共サービス拡充の必要性や意義を地域にアピールする取り組みを行ってきました。県本部は本部方針に基づき今年も、「公共サービスにもっと投資を！」キャンペーンでは3月6日に福島市内で街頭ア

## 自治労福島県本部2024春闘討論集会



2024春闘討論集会では春闘方針に対する補強意見が多く寄せられた



第1分科会 賃金・労働条件



第2分科会 高齢層職員の賃金・労働条件と組織化



第3分科会 自治労共済の推進

### 「公共サービスにもっと投資を！」 キャッチコピーの募集について

- 応募資格  
①自治労組合員、全消協会員のいずれかであること  
②個人または組合および組合の内部組織(青年部・女性部・各種評議会等)での応募とすること。
- 応募方法  
以下の応募フォームにご登録をお願いします。  
<https://jichiro.form.kintoneapp.com/public/24syunto>  
なお、右下のQRコードでも応募フォームにアクセスします。  
※昨年の大賞作品  
「人が紡ぐ 人が育てる 公共サービス」
- 募集締切  
2月9日(金)
- 各賞について  
大賞：商品券5万円+チラシキャッチコピー採用  
準大賞：商品券1万円



